

令和 5 年 12 月 4 日作成

令和 5 年度職員協働研修アンケート結果

日 時：令和 5 年 11 月 20 日(月)

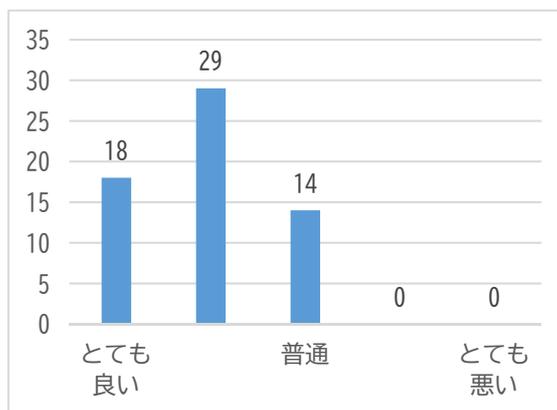
午前の部 9 時 30 分から、午後の部 13 時 30 分から、2 時間程度

参加者：午前の部 職員 33 名、はぐくむ委員 12 名

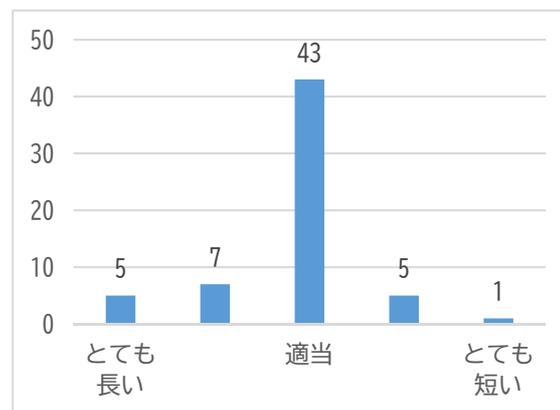
午後の部 職員 24 名、はぐくむ委員 12 名

1. ワークショップについて

内容はどうでしたか？



長さはどうでしたか？



2. 自由記述

- ワークショップの主題か、検討するタイトルを決めてくれないと、どうしても総花的になる。
- 有意義な研修会だったと思います。
- はぐくむ委員の方ともお話でき良かったです
- ワークショップを数段階に分けて欲しい。
- とても勉強になりました。
- 市民さん（はぐくむ委員さん）の意見を聞くことができて良かったです。
- ディスカッションテーマが大きく議論がどっちらかいました。具体的な課題にしてもいいかと思います。
- 今回のワークショップの意見を有効に活用し、自治と協働がさらに推進されることを願っています。

- 地域住民としたら協働って言われると身構えてしまいます。市長が言われた、協力とか一緒にとかだと自分もできるかなと思うのではと思います。
- 日々の仕事の中で感じることもあり、少しスッキリした気持ちになりました。
- 橋本を良くしたいと言う思いは皆さんから伝わりました。今後どのようにするのか模索していかないとと思います。
- 普段話す機会のない色々な課の職員さんの話、とても興味深く、もう少し聞いていたいような感じでした。
- 自治と協働の研修テーマは、大きすぎてなかなかワークショップでは協議が難しかった。もう少し、マクロ若しくはミクロなテーマにして貰った方が、協議し易かったです。
- 協働に関する問題が限定的になってしまい、あまり広がりませんでした。市の職員の中でも、認識に差があるとあらためてわかりました。
- 協働を進めている自治体の情報を取り入れていかないといけないと思いました。
- テーマがもう少し具体的な方が話しやすかったかもしれません。
- 協働について考える良い機会になりました。
- 協働の理解を深めるために、テーマを絞り込んだり、具体的な取り組みについて話し合いが出来たら良いと思う。
- はぐくむ委員さんとの対話や堀内委員長の話聞いて、もっと頑張らないと思いました。
- 協働についてじっくりと考える時が無かったのでたいへん良い機会でした。ただ、うまく議論が深まらず、日頃の取り組み不足を感じていたところに、最後の堀内委員長の厳しい講評があり、身につまされる思いでした。まずは、こういう機会が大切だと思うので、全職員が参加していくこととしても良いと思います。はぐくむ委員の方には、グループワークでは話しやすい環境等を設定いただき、日頃の関わりも含め、感謝とともに頭が下がる思いです。
- ・はぐくむ委員の方々の活動内容を具体的に知ろうと思いました。
- ・付箋を使ったワークショップのやり方をもう少し工夫したかったです。
- いろいろな意見を聞いて勉強になりました。自分でできることから始めていきたいと思います。

- 具体的にすぐに事業にフィードバックできるかは別にして、意識高揚として参加した成果はあると思います。全職員参加は現実的でないので、補職にかかわらずランダムに参加させてはどうでしょうか。
- 時間的に余裕はなかったが、これ以上長くてもしんどいので、適当かと思います。市長の話は長すぎて、聞いているのがしんどい。堀内さんの講評は、よくわかりました。
- もう少し熟議したかった。
- 様々な部署、年代の方々とワークショップを通して意見交換できて非常に有意義でした。市長などからも今後の市役所生活に活かせるようなお言葉も頂いたので、自分も日々勉強していきたいと改めて思いました。今後も様々な研修に参加していきたいです。
- 午前の部で、最初はワークショップ 80 分と聞いた職員さんの反応が「長いなあ」でしたが、進めていくうちにだんだんと時間が足りなくなるくらいに意見交換できました。職員さんから「はぐくむ委員さんの話を聞いて、それもあつたなあ、そうか、と思う協働事例もあつた。」というような話しをしてくださいました。担当課以外のところに意識が向いていないと、協働と言われても思いつきもしないのが分かったということをお聞きできたのも良かったと思います。午後の部はじっくりとお互いの話しを聞けたように思います。職員さん同士で、発言に対して疑問点を投げかける、また話し合えるということができました。ワークショップを始める時にどこから考え始めたらいいのか、戸惑いながら始まるという感じもありました。
- より実践的な協働を行うための具体的な方法についてテーマを絞って考える必要があると感じました。
- 午前中のメンバーに比べて、はぐくむ条例に関する知識が少ない人が多く内容があまり深まらないような結果だと思います。ただ、こういうケースは、今後も間違いなく出てくるのだろうと感じました。
- まず出席者が少なかった。又、出席者にレベル（職位）の差があつたのでは？午前中の班ワークショップは意見も活発に出てよかった。又役割分担の人適任だった。午後の班ワークショップ考え込む、つまる時間があつたのは残念。開催月日の見直しを